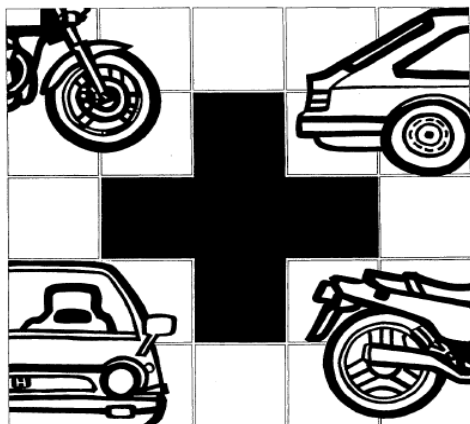


■ 基本的な考え方

当社は、「安全なくして生産なし」を労働安全衛生活動の基本理念とし、「安全で健康に働ける職場づくりが、企業存続の根幹」と位置付けています。労働災害撲滅のため再発防止対策の共有に留まらず、不安全状態・不安全行動が無い職場に向けて、様々な安全教育プログラムや仕組みを推進し、重大災害や事故の減少に結びつけています。

安全なくして生産なし

安全衛生・交通安全 ルールブック



武蔵精密工業株式会社
中央安全衛生防災委員会

安全衛生・交通安全 ルールブック

基本方針

- 1** ムサシグループ各社は、「優れた製品や品質は、人がつくり出すことを前提に、安全そして健康的で生き活きとした職場がなければつくり出すことができない」ということを意味する、『安全なくして生産なし』という労働安全衛生の基本思想に基づき、以下の方針により事業運営を行なわなければならない。
 - ①** 全管理者は、日々の事業運営や業務の推進にあたり、人間尊重の精神を優先し、安全かつ健康的な職場環境の実現に向け、継続的に職場環境の整備と改善を展開すること。
 - ②** 全従業員は、心身ともに健康的かつ安全に働くことができる職場環境の実現に向け、自ら職場改善を提案し、行動すること。
- 2** ムサシグループ各社は、所在地における安全衛生に関する全ての法律、規制等の法的要求事項を遵守しなければならない。
- 3** ムサシグループ各社は、労働安全衛生管理を円滑に推進するために、安全衛生に関する組織、法的資格選任者、および管理監督者の役割責任を明確にしなければならない。
- 4** ムサシグループ各社は、自社の設備・機械が抱える危険・有害要因についてリスクアセスメント等で特定および管理し、それを除去、低減しなければならない。併せて、作業環境についても快適性の実現に向けて継続的に改善しなければならない。
- 5** ムサシグループ各社は、従業員および社内で勤務する者に対して、安全衛生に関して必要な知識習得のための教育訓練を実施しなければならない。
- 6** 従業員は、自分自身を守るために、積極的に安全知識を習得し、規則・手順を守り、安全な職場環境の実現に向けて提案する等、積極的な姿勢で業務を行なわなければならない。

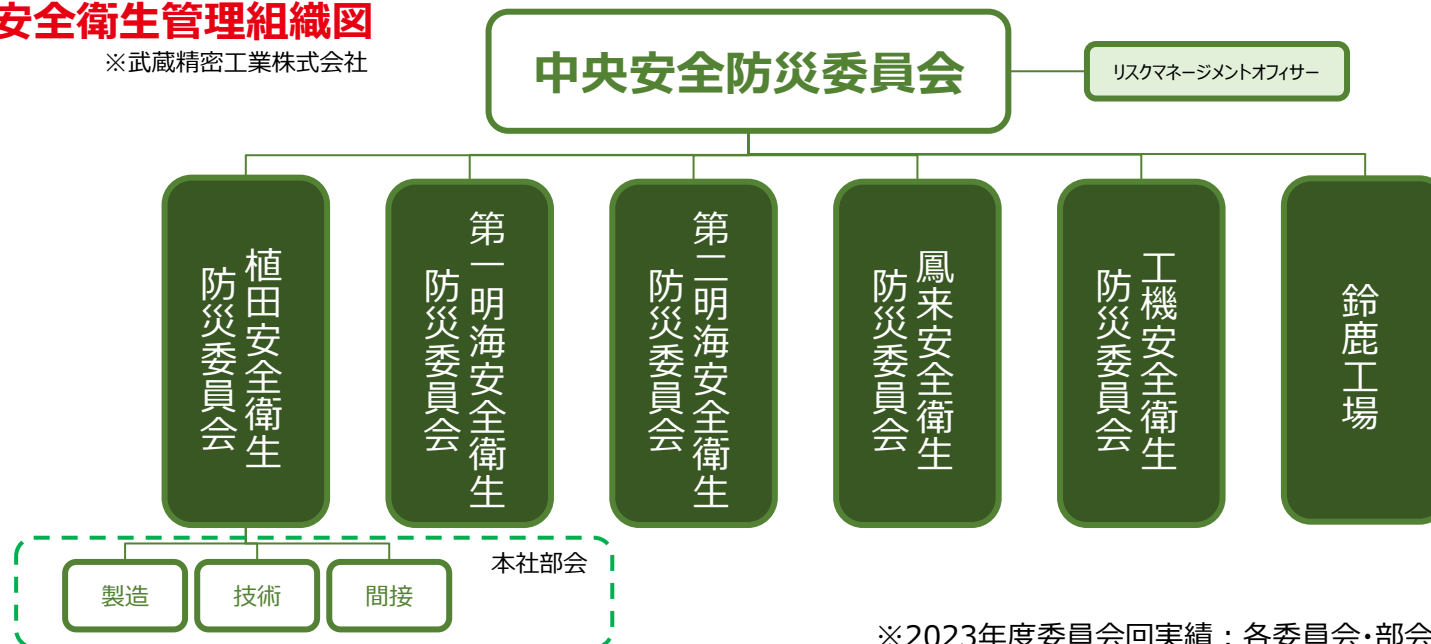
■ 推進体制

当社は「安全で健康に働ける職場」を目指し、労働災害防止と就業環境の向上に取り組んでいます。役員が委員長を務める中央安全衛生防災委員会を中心に、全社横断的に安全、衛生、防災活動を法令遵守で推進しています。各工場には安全衛生防災委員会を設置し、本社には製造領域、技術領域、間接領域の部会を設けています。各委員会では、それぞれの領域に合わせた活動の展開、発生事案の対策・対応、安全衛生の現場パトロール、情報共有などを行っています。

また、全ての委員会に労働組合役員も参加しており、各現場の作業者に寄り添った視点からの意見を反映しやすい組織体制を整えています。

安全衛生管理組織図

※武蔵精密工業株式会社



※2023年度委員会回実績：各委員会・部会年間12回

■ 安全衛生活動の推進

安全衛生活動を組織的かつ継続的に行うために、PDCAサイクルを安全の循環サイクルとして実施しております。三現主義を基に安全な職場・環境・教育を計画し、安全を最優先とした事業活動をおこない「労災ゼロ」を追求し続けます。

<適正なKPI>

労働災害の発生件数総数
休業災害の度数率・強度率

